嬬恋流　ねまがり竹製

かんじきの作り方

《材料（一組）》

綿ロープ 250cm × 2
230cm × 2
100cm × 4
80cm × 2

ネマガリタケ（チシマザサ）２本
銅線〇〇 cm

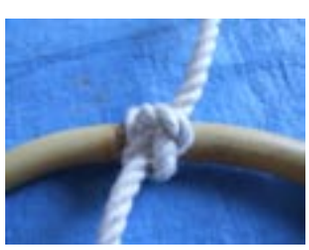
《その他、用意するもの》

ガスバーナー
加工台（竹を曲げる際に押さえるもの）

【ネマガリタケの骨組み】

ネマガリタケは油抜きをしておく。ガスバーナーを使用し熱で竹を曲げていく。ゆるやかなカーブにするときはバーナー先端を横に降り広く放射し、急なカーブを作るときは先端を縦に振るといい。曲げすぎたときは逆側から放射し形を整えていく。うまく縦長の輪を作ったら、銅線（針金でも良い）で固定する。

【乗り縄（右足）】



① 250cm のロープを使い、つま先部分から巻き始める。まず 30cm くらい残して巻き結びをし、さらに残したロープの先を止め結びする。
②右側から六角形になるようにねじりながらかけていく。この時ロープをピンと張りながら進めること。
③スタート地点まで戻ったら、①と同様に巻き結び＋止め結びでしっかりと止める。
④ロープの余り部分で輪を作るようにして結ぶ（写真は止め結び）。

⑤ 100cm のロープを使う。左上を巻き結びし、右下の対角線部分で○○結びで止める。同様にして右上から左下への対角線も行う。

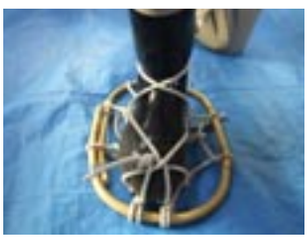
⑥余ったロープを表面・裏面共に結ぶ。ここにかかとが乗ることになる。

⑦ 80cm ロープで真ん中の X 交差部を結び、両端のロープを上から巻き込み裏側で結ぶ。

⑧ 230cm ロープを、X 部の上部に止め結びで二箇所結ぶ。

⑨最後に、⑧で使用したロープ以外の余分なロープを切り、整えて完成。

【履き方】



横に伸びたロープをつま先の輪に入れ､交差してかかとの横に回す。このときに内側の上から外側に回す。2 本のロープをかかとから前に持ってきて交差し、もう一度後ろに回し前で縛る。